



クローズアップ
CLOSE UP

寝相を巨大なアートに

寝ている赤ちゃんの周りを飾り撮影する巨大寝相アートを、11月18日にけやきウォーク前橋で開催。各地区で開催してきた寝相アートの集大成となる今回は、450組の応募の中から抽選で選ばれた1歳未満の赤ちゃん100人が集合。かわいらしい作品が完成しました。



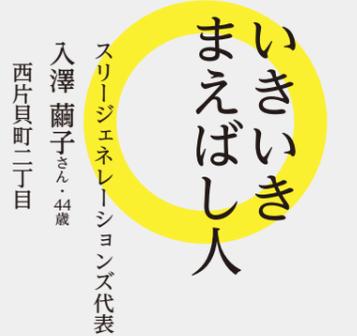
いつかの災害に備える

11月11日に前橋赤十字病院や駒形小などで総合防災訓練を実施しました。市内で震度6強の地震が発生したことを想定。地元自治会などとも連携し、発生直後の対応を訓練しました。また、聴覚障害者の避難が円滑に進むよう、コミュニケーションボードの活用も試みました。



勝利を願い声援送る

今年2回目となるザスパクサツ群馬の前橋市冠試合を11月18日に開催。1,500人の市民を無料招待し、記念タオル配布や抽選会を実施しました。昇格を懸けた正念場の試合。約3,000人の熱い声援を力に、ギラヴァンツ北九州に1対0で勝利。会場は歓喜に沸きました。



子どもも親も笑顔になれるように



入澤さんは飲食店の定休日
に店舗を借りて子どもたちに
食事を振る舞う「まえばしこ
ども食堂」を運営している。
活動のきっかけは主催したみ
そ作り教室だった。

「料理を持ち寄りみんなで
食べたのですが一人で全部作
るより楽で。子どもたちも楽
しそうだしこれはいいと思
いました。この経験から家事育
児を頑張る母親が休める場所
を作りたいと思っただけです」

考えをSNSに公開すると、
賛同者や市内飲食店が手を挙
げてくれた。そこで当時全国
に広まりつつあった子ども食
堂という名前で活動を開始。
この活動は子どもの孤食も防
ぐことができる。

「私も働しながら子育てし
ていたので、子どもが一人で
食事することが気掛かりでし
た。やっぱりみんなで食べる
と楽しいしおいしいです」

「私があつたらいいなとい
うものを作っただけなんです。
頑張らないとって気を張って
いる母親が息抜きできる場と
してどんどん使ってほしい。
地区ごとに一つあるようにな
ったらすごくいいですよ」

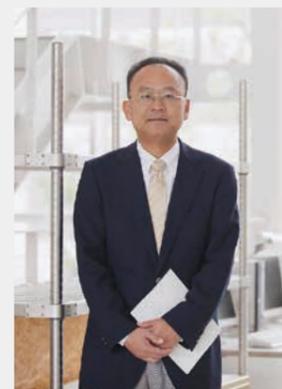
今後はキッチンカーでの開
催や、さまざまな機関との連
携で活動を周知していきたい
と語る入澤さん。この活動の
広がりで、笑顔で食事を楽し
む親子が増えていくだろう。

暮らしに密着
工科大 LABO

Vol.4

前橋工科大
☎ 027-265-0111

今回は
システム生体工学科です



前橋工科大は、科学と工学で
生活を快適に、安全に、そして
持続可能にすることを目指して
います。このコーナーでは、日々
行っている研究内容や暮らしに
役立つ豆知識を各学科から紹介。
今回はシステム生体工学科の野
村保友教授がお届けします。

システム生体工学科では医
療・福祉技術の高度化に対応す
る技術者を養成。私はその中
で、光を使った医療機器の教育
研究を担当しています。ここで

は、身近な光に
ちなんだ興味深
い話をご紹介します。
前橋ではイヌ
を飼っている人
が多いです。家
族の一員として皆さんと同じよ
うに、この世界をイヌが見てい
ると思っているかもしれませ
ん。テレビの画面で見る鮮やか
な景色は、非常にたくさんの方
から成ります。その画面の各点
で赤緑青の3つの色を適切な割
合で混ぜ合わせてその景色を再
現しています。

ヒトがそれを見るときには眼
の奥の網膜で再度3つの色に分
け、その情報が脳に伝わるとそ
れらを混ぜ合わせてその景色を
認識します。しかしイヌを含め
多くの哺乳類（ヒトやサル以
外）は赤を感じません。白黒ほ
どではないですが、緑青の2色
ではヒトが感じるほど鮮やか
な世界ではないかもしれませ
ん。散歩の時に赤い物の見え具
合を試してみてください。

次回は、私たちの生活と密接
に関わるバイオテクノロジーを
研究している生物工学科からお
届けします。

